

1. はじめに

私は、2021 年度の派遣留学生として、10 月 4 日よりイギリスのレスター大学 (University of Leicester: 以下 UoL) の English Language Teaching Unit (以下 ELTU) にて活動を行っている。以下、10 月分の報告を示す。

2. 勉強面について

2.1 ELTU について

ELTU ではレスター大学に通うために必要な英語力 (IELTS 6.0 以上) を養うための学習が行われており、Module A~E までレベルごとにクラス分けされている。Module A を終了すると IELTS4.5 相当の英語力が認められ、Module B・C...と終了時には 0.5 ポイントずつ加算されていく。Module D もしくは E を卒業すると大学で学ぶために必要な英語力があることを認められる。

1 クラスは最大 16 人とのことだが、私の所属する Module C は自身を含め 8 人と少人数である。他のクラスもコロナウイルスの影響を受けてか 10 人前後と先生 1 人当たりに対する生徒数は多くない。人数が少ない分、先生に質問できるチャンスは多いが、おとなしくしていると他の方の質問にかき消されてしまうので、負けないように積極的に質問しないと授業についていけない。英語学校は中国人、韓国人が多いイメージだったが、トルコをはじめとした中東から来た方が多い。

授業時間は、9 時半より午前 90 分 2 コマ、午後 120 分 1 コマとなっている。午後の授業は週 3 回のみであり、水曜日と金曜日は午前で終了する。水曜日の午後は運動をすることが推奨されているようだ。午前の授業と授業の間は 30 分、お昼には 1 時間の休憩があり、学生の居室 (Common Room) でお茶やお話、お昼を取る学生が多い。また、ビリヤード・卓球もあるのでそれを活用して交流をしている学生もいる。

1 週間の英語学習時間は 35 時間が推奨されており、そのうち 21 時間は ELTU での授業で、自主学習を 1 日 3 時間するよう指導されている。

授業は 10 週で 1Term が終了し、10 週目 (12 月 6 日~9 日) に期末試験が行われる。A~F と 0 で評価され、D 以上で合格、F で不合格、0 は試験を未受験となっている。Module A~C を終了するには、

- ・ 85%以上の授業出席
- ・ Core Task という提出課題を 100%提出
- ・ 試験で評価 D 以上

が必要である。

2.2 所属モジュールと時間割について

私が現在所属しているモジュールは Module C である。使用している教科書は Oxford EAP であり、1 週間に 1 章が終わるペースで進んでいる。時間は図 1 の通りである。

○ A~E

教科書に沿った授業が行われる。A がスピーキング、B がライティングなどということは特に決まっておらず、アカデミックな英語で聞き取るべきポイントやまとめ方、文章の書き方、話し方、語彙を学んでいる。

- Tutorials
担当の先生との面談 (各自 15 分程度) や, 試験の概要についての説明が行われる.
- Project
10 週目の試験の際に, 自身の専門分野に関するポスターセッション (発表時間 5 分, 質疑応答あり) が行われ, そのための準備を行う. 良いポスターの構成や, 入れるべき情報 (Introduction, reference など), 参考文献の書き方を学んでいる.

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
9. :30-11:00	4A	4A	4C	4D	Project6
11:30-13:00	4A	4E	4C	4D	Project7
14:00-16:00	4A	4B		Tutorials	

図1 時間割 (4 週目)

3. 授業以外について

3.1 寮について

寮 (Opal Court) は ELTU のある Readson House から徒歩 5 分, UoL の本校舎からも徒歩 5 分, レスター駅まで徒歩 10 分, シティーセンターまで徒歩 20 分と生活がしやすい場所にある. スーパーも近場であれば徒歩 10~15 分程度で行けるため自炊もしやすい.

5 人 1 フラットであり, 個人部屋と共用でキッチンが設けられている. 個人部屋 (図 2) は, ベッド, 勉強机, トイレ, シャワー, 洗面台, 暖房が完備されており, 共用のキッチン (図 3) には, IH ヒーター, 電子レンジ, 冷蔵庫がある.



図2 個人部屋 (左: ベッド, 右: 水回り)

洗濯機は寮全体での共用であるため, 曜日や時間によって込み具合が異なる. 値段は洗濯が £3.3, 乾燥が £1.8 であり, 専用のアプリで支払いを行う.



図3 共用のキッチン

また、寮全体での共用施設として、Common Roomがあり、テレビや卓球台、キッチン、ピアノなどがある。

3.2 授業以外での過ごし方について

平日の午後に授業がない日はレスターのシティセンターに友達とショッピングに行く、寮でご飯を作る、日本のアニメを見るなどして過ごしている。週末は、土曜日もしくは日曜日に日帰りの旅行をし、行かない日は課題や掃除・洗濯をして過ごしている。イギリスは美術館や博物館が無料である場合もあるため、観光にお金を使わなくてもよい場合がある。10月、ロンドン、ノッティンガム、バーミンガム、リーズに行った。

4. おわりに

9月20日にイギリスへ到着し、約1カ月半経過した。10日間の隔離生活はあったが、日本にいるよりも英語に触れられるチャンスは増えた。

もともと2020年度の派遣留学生として4月に渡英する予定であったが、コロナウイルスの影響を受け3度ほど延期された。卒業まで無理だと諦めかけていた留学であるため、渡英できたときは正直イギリスにいるという実感がなかった。念願の留学であり、さらに留学期間が2カ月半と当初の予定より大幅に短い計画であるにも関わらず、積極的な活動ができていないように感じる。ここが著しく伸びたという感覚は得られておらず、英語をうまく扱えないという状況は変わっていない。先日、リーズでバスに乗った際“カークストール修道院に行きたい”とバスの運転手に伝えたのだが、うまく伝わらずバスを下ろされてしまった。ただ自身のいいところは、それでもめげずに挑戦することで、何度か交渉した結果、最終的には別のバスに乗せてもらうことができた。まだまだ英語の語彙力が乏しいため、伝えたいことが伝えられないことや、相手の言っていることを理解できないことが多々あるが、最終的にはいい方向に結果が向いているため留学したこと自体に後悔は全くしていない。

渡英初日から、ビザスタンプがもらえない、予定していた部屋が使えず別部屋に案内される、隔

離期間の食料・生活用品が入手困難などトラブルもあったが、今は快適に過ごしている。

残りの滞在期間は 6 週間と、留学期間は半分を切った。これまでと同じように過ごしていたら一瞬で帰国になると危機を感じている。しかし健康あつての留学だと思っているので、無理のない程度に留学でしか体験できない活動を行う予定だ。

現在、授業や友達との会話で 1 分以上途切れずに話すことができず聞き手に回ってしまうことが多い。11 月は、聞き手ばかりではなく自分からも話題を振ることや自分の意見をもう 30 秒多く伝えられるようになることを目標とする。

以上で、10 月の月例報告を終了とする。